

育成 モノづくり人材 Vol. 48

思いが込められて いる。福山市は広島県東部と岡山県西部にまたがる経済圏「備後圏域」の中心を担い、造船、工作機械などに代表されるモノづくりが盛んなことも特徴だ。卒業生は、こうした地域産業で身につけた技術を使つた実践的な授業で身につけたところが部活動にも反映で

きている」と波及効果熱や積極性を持つ人材に手応えをつかむ。機械研究部と電子機械研究部のチームが15年度のマイコンカーラリーの全国大会で準優勝を果たすなど、学外活動でも目に見えた成果が出始めている。

広島県教育委員会は 同プロジェクトで福

企業OB技術指導

山業高は、機械、電気的な指導を受けてい
氣など技能スキルを持つ。朝倉校長は「豊富
な企業OBを「スーパー」な企業経験をもとにし
て、エンジニアリングたモノづくりの仕事へ
・ティーチャー」(S の熱意を感じ取つてほ
E T)として招き、実 しい」と期待する。

など、地元での連携、地域交流の幅も広い。
朝倉校長は「礼儀を
大切にして工業の高
度技術を身につけて、企
業や地域から頼りにさ
れる工業高校でありた
い」と力を込める。
(福山支局長・林武志
(金曜日に掲載)

企業OB招へい、技能習得

広島県立福山工業高校は1932年の創立。校舎はJR福山駅から徒歩20分の市内中心地に位置する。「礼規範意識を向上させる」が校訓である。校長は朝倉一隆で、彼によると「校風は厳しく指導していく」とある。生徒たちは朝倉校長が話すように登下校時、校門で立ち止まり一礼する。これには

業の将来を支える。
人材育成には校内設備の充実が大きく寄与する。基礎実習ができる

【DATA】▷校長=朝倉一隆氏▷所在地=広島県福山市▷学科構成=機械科、電気科、建築科、工業化学科、染織システム科、電子機械科▷生徒数=862人▷主要設備=レーザー加工機、電子顕微鏡、NC旋盤など▷主な進路=三菱電機、JFEスチール、ホーカス、リヨービ、北川鉄工所など

所など
県内モノづくり企業の協力を得て、県立工業高校や工業系学科の生徒を対象に、モノづくりへの情



朝倉校長

企業OBがスーパー・ティーチャーとして技術指導する（旋盤実習）

一方、工作機械メーカーのホーコス（福岡市）の菅田雅夫社長は「地元に工業高校があるのは製造業にとって心強いし、応援したい」とインター（就業体験）や工場見学を積極的に受け入れる。三菱電機福山製作所（同）は新入社員向けの旋盤教育で同校に向いて設備を使用するなど、地元での連携、地域交流の幅も広い。

朝倉校長は「礼儀や技術を身につけて、企業や地域から頼りにされる工業高校でありたい」と力を込める。（福山支局長・林武志）

無断転載・複写禁止
株式会社日刊工業新聞社